





チラシの  
**極意**がここに。

AI時代の集客を最大化する、

## 東京都チラシコンテスト

### 霞ヶ関の良かった点 (審査員の具体的な評価ポイント)

- ① 遠目でも強く目を引くビジュアル  
緑の人物を核に、全体を「緑」で統一。その場に置かれていても「何あの緑?」と思わず目を留めさせる圧倒的な存在感 (Canvaのみで巧みにやり繰りした点も高評価)。
- ② 秀逸な興味喚起の導線  
「企業は人なり」という文言が効いており、そこから内容を読み始めさせるきっかけづくりが非常に強い。
- ③ 必須情報の確実な充足  
時間と地図がはっきりと明記されており、参加者視点での要件をしっかりと満たしている。
- ④ ターゲット視点の工夫  
誰に向けて発信しているのかが一目で伝わり、必須情報の視認性(見やすさ)や申込(QR)への動線もスムーズ。

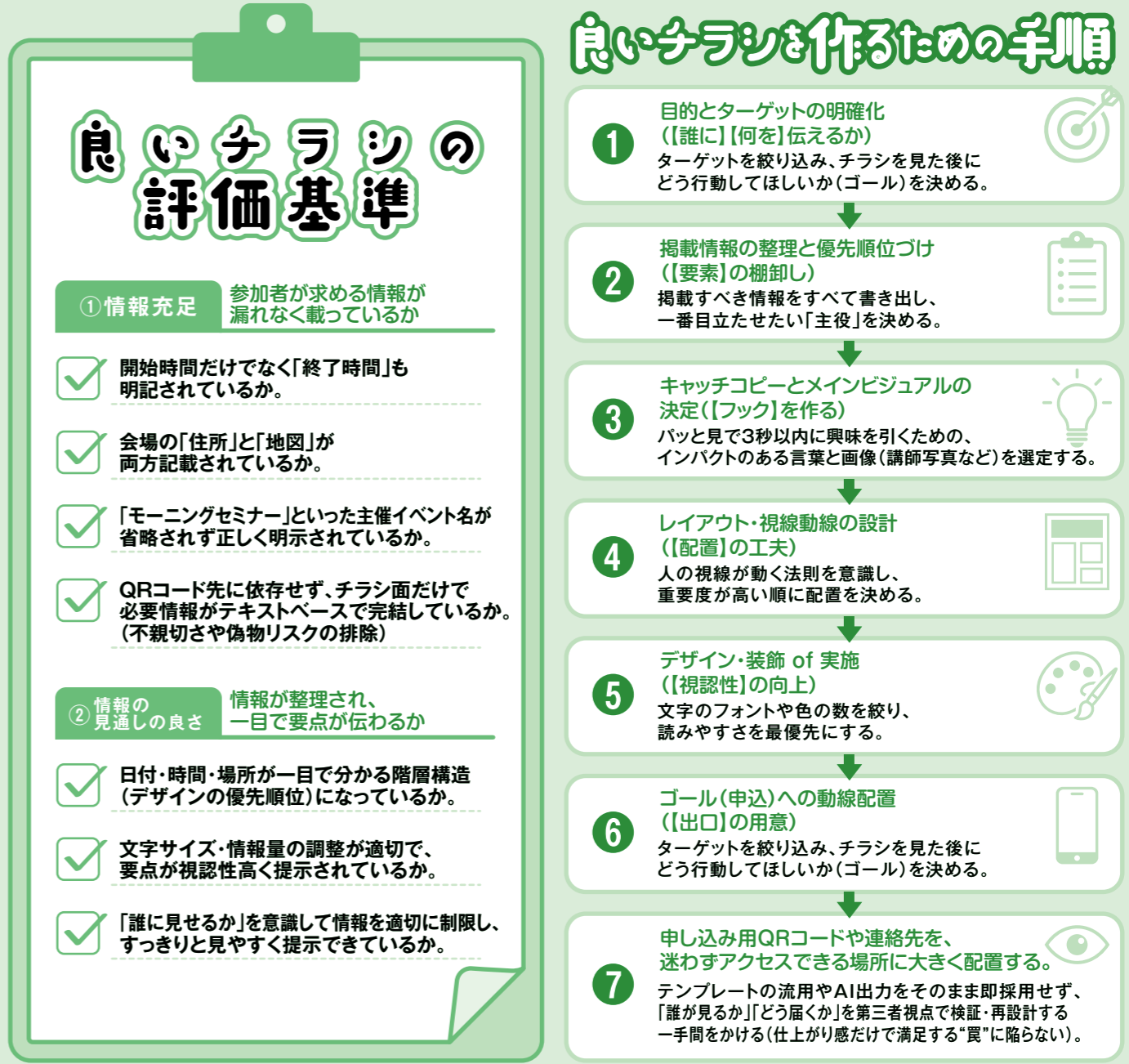
AIで誰もが簡単にチラシを作れる時代だからこそ、問われるのは「誰に、どう届けるか」という本質です。広報委員会では、各単会の集客力向上を目的に「チラシコンテスト」を開催。デザイナー大海渡、辰洋氏※、プロカメラマン小野崎 悟氏、飯作文俊法人スーパバイザーによる厳正な審査から見えてきた、ゲストの心を動かす「正しいチラシの作り方」をお届けします。

**金賞 霞ヶ関倫理法人会**  
満場一致での選出。全体を緑で統一した遠目からでも強く目を引くビジュアル、文言による興味喚起の導線、地図や時間の明記といった「高い情報充足」と「思わず読み始めさせる強いきっかけ(フック)」を両立している点が高く評価されました。

**銀賞 千代田区倫理法人会、小金井市倫理法人会、世田谷区倫理法人会、渋谷区倫理法人会**

**特別賞 東村山市倫理法人会**

**審査員特別賞(各賞の着眼点)**  
デザイナー 大海渡賞 千代田区(着眼点:チラシとして完成度が高いか?)  
プロカメラマン 小野崎賞 銀座(着眼点:画像が目を引くものか?)  
飯作文法人 S.V賞 杉並区西(着眼点:イベントの必要条件を全て網羅しているか?)



### 良いチラシの 評価基準

- ① 情報充足 参加者が求める情報が漏れなく載っているか
  - ✓ 開始時間だけでなく「終了時間」も明記されているか。
  - ✓ 会場の「住所」と「地図」が両方記載されているか。
  - ✓ 「モーニングセミナー」といった主催イベント名が省略されず正しく明示されているか。
  - ✓ QRコード先に依存せず、チラシ面だけで必要情報がテキストベースで完結しているか。(不親切さや偽物リスクの排除)
- ② 情報の見通しの良さ 情報が整理され、一目で要点が伝わるか
  - ✓ 日付・時間・場所が一目で分かる階層構造(デザインの優先順位)になっているか。
  - ✓ 文字サイズ・情報量の調整が適切で、要点が視認性高く提示されているか。
  - ✓ 「誰に見せるか」を意識して情報を適切に制限し、すっきりと見やすく提示できているか。



受賞作の制作者コメントをこちらからご覧いただけます。

※大海渡 辰洋 [デザイナー/映像クリエイター] 2025年のGOOD MORNING 9月号~本誌までのデザインを担当。AIを駆使し、さまざまな企業のデザイン顧問や販促の提案・改善を得意とする。連絡をご希望の場合は広報委員まで



SHINJUKU  
40  
ANNIVERSARY

未来へ繋ぐ、感謝と希望のバトン。  
新宿区倫理法人会、設立40周年の誓い

令和8年4月19日、京王プラザホテルにて新宿区倫理法人会の設立40周年記念式典が開催されました。  
会場には倫理研究所や東京都倫理法人会の役員、多くの来賓や歴代会長、そして93社96名の会員が集い、  
歴史的な節目を祝う温かい空気に満ちあふれていました。

式典冒頭、副会長で40周年実行委員長の成木雅也氏が登壇。「皆で作る、皆で祝う40周年」のもと、仲間とこの日を迎えられた喜びを語ります。オープニングを飾ったのは「笑い神の舞」でした。狂言方大蔵流能楽師の善竹十郎氏と河北美紀会長らによる渾身の舞は会場に福を呼び込み、輝かしい未来を祈念する幕開けとなります。

新宿区倫理法人会が都内で2番目、全国で27番目の単会として産声を上げたのは昭和61年4月17日のことです。6代目会長の鈴木照男氏は乾杯の発声で、会長不在の危機や会員減少の苦難を回顧。そこから一年後に復活を果たし、「今やモーニングセミナーに100名を超える方が参加する会になったのは夢のようです」と、現在の隆盛へ深い感慨を寄せられました。

この歩みはバトンを繋いできた全員の尽力によるものです。式辞を寄せた法人局の津隈方面長の言葉を、名誉研究員の田形健一氏が代読。コロナ禍で篠原由香12代目会長が会を活性化させ、2年連続で「白い行動旗」を受賞した歴史を紹介し、初代から現在の14代・河北美紀会長に至るまで、バトンを繋いできた全員への敬意と感謝が表明されました。

謝辞に立った河北美紀会長は、今期のテーマ「原点回帰」への思いを明かされます。「亡き初代・小川保久会長と繋がること」を願う祈りは、3代目・古橋健次郎会長の写真の発見や、初代時代の専任幹事の参加という巡り合わせを呼びました。皆様のおかげで自慢の「生みの親」と「育ての親」を披露できると、誇らしげに語る姿が印象的でした。

現会長の胸にもそのバトンは息づいています。引き受けた当初は我に？悩み、涙した夜もあったとのこと。しかし、倫理指導で「一人で運営しない」ことを教わり、原点に立ち返った途端に入会者が続々と現れました。「三役や皆様のおかげです」と、感謝の言葉が紡がれています。

40年の歴史は、歴代会長の情熱、勇気、仲間の絆がバトンとなり、未来へ繋がられてきました。先人への感謝を胸に、次の50周年に向けて新たな一歩を踏み出した新宿区倫理法人会。40年の歴史とこれからの希望をひとつに結んでいました。



越えてゆけ

「天命に向き合う」とは、目の前の課題に心を尽くすこと。近道を探さず地道な一歩を積み重ねる大切さが語られました。思い通りにいかない心配は、我のままを通したい心(我欲)から生まれると倫理では教えられます。壁を乗り越える鍵は「純情・素直」な心と「実践」です。未体験の目標に対し、創始者・丸山敏雄先生の教えに基づき「仮説を立てて実験を繰り返す」ことで、漠然とした目標は具体的な道のりへと変えることができます。

また、ステージが上がるほど「人に任せる」という新たな壁が立ちはだかります。「自分がやらなきゃ」という我を捨て、相手の「できた部分」を見て信頼してお願いする。自分より優秀な人をお願いする面白さを知り、純粹で素直な心になったときにこそ、数字の本当の意味が見えてくるとの言葉が会場の共感を呼びました。

セミナー後の懇親会も、役職や年齢を超えて本音が飛び交う貴重な学びの場です。経営者として直面する悩みを分かち合い、励まし合う仲間たち。各地区の個性やリーダーシップの違いを学び合う中、当日その場での入会を決意される方もいらっしゃり、会場から大きな拍手がおくられました。

「できっこないことをやってみよう」を掲げた運営メンバーは、朝の学びをきっかけに自己革新を続け、この大きなイベントを成功へと導きました。失敗してもそこから学び、再挑戦を支え合う仲間がいる倫理法人会。一人では越えられない壁も、日々の実践を積み重ねることで必ず突破できるという確信を胸に、私たちはまた明日からの朝の学び、そして日々の実践へと向かいます。



見えない

仲間と挑む、  
見えない壁の突破法

2026年4月3日、北区倫理法人会・練馬区倫理法人会・豊島区倫理法人会の3単会合同による「モーニングセミナー」が開催されました。テーマは、個人事業主から経営者までが直面する「見えない壁の突破法」。「売上3,000万円の壁」や「1億円の壁」、そして組織が抱える人間関係の悩みを乗り越えるヒントを求め、会場は大きな熱気に包まれます。

で  
き  
こ  
な  
い  
壁  
の  
突  
破  
法  
を

東京都倫理法人会・広報委員会では、各単会の魅力や実践者のリアルな声を届ける新企画として、座談会形式のインタビューを実施しました。今回のテーマは、「ここが〇〇だよ倫理法人会」。

近年、国籍やルーツが日本以外の方々、が会員として活躍される姿を多く目にするようになりました。まさに多様性の時代です。そこで、ふと素朴な疑問が湧きました。「倫理法人会ならではの学びやルールに、違和感はないのだろうか?」「これは日本人だからこそ通用するものなのだろうか?」今回は、経営者、若手、海外にルーツを持つメンバーなど、多様な背景を持つ4名が集結。「なぜ続けているのか」「倫理で何が変わったのか」を、広い視野から本音で語っていただきました。実践者たちの生々しい言葉から、一歩踏み込んだ「倫理の力」が見えてきます。

誌上座談会

# ここが〇〇だよ倫理法人会

～それぞれが語る、私にとっての倫理法人会～

広報委員会  
インタビュー



墨田区倫理法人会 相談役。  
上海生まれ、日本へ帰化。  
湯島での参加を機に入会。  
墨田区会長、城南地区長、  
羽田空港倫理法人会会長などを  
歴任。

森園 文恵



豊島区倫理法人会 所属。  
IT・AI関連事業を経営。  
「活力朝礼甲子園」実行委員  
長も務める、次世代を担う  
若手実践者。

池田 龍一



紀尾井町倫理法人会 所属。  
不動産関連事業を経営。  
中国・吉林省出身。20歳で  
留学のため来日。  
現在入会6年目。

高 愛君



新宿区倫理法人会 所属。  
エンターテインメント関連会社経営。  
カメルーン人の父と日本人の母を  
持つ、お笑い芸人、映画監督  
など異色の経歴の持ち主。

武内 剛

KOKOGA  
〇〇  
DAYO

## 01 KOKOGA〇〇DAYO 倫理法人会との出会い

——「怪しい(笑)」から始まった

高岡： みなさん、本日はよろしくお願いします。さっそくですが、まずは率直にお聞きしたいです。倫理法人会の最初の印象はいかがでしたか？

武内さん： いや、正直に言うと、最初は「朝から大声を出している、ちょっと怪しい会だな」って思いました(笑)。

高岡： (笑)。やはり、最初はそこに驚かれますよね。  
(確かに、外から見れば「朝からなぜあんなに元気なんだろう?」と不思議に思いますよね。でも、その圧倒的なエネルギーこそが、ここの魅力なのですね。)

武内さん： ですが、実際に参加してみると空気感が全く違ったんです。  
ピンと張った、心地よい緊張感があって。結局、その日に即日入会して、気づけばもう2年。毎週の講話や役を経験する中で、自分の考え方や行動が少しずつ変わっていきました。

高岡： なるほど。開始2分前の、あの独特の凛とした空気感ですね。高さんはどうでしたか？

高さん： 実は私、最初は「3ヶ月だけ」のつもりだったんです。  
モーニングセミナーの後に、偶然お誘いいただいたのがきっかけでした。でも、実践を重ねるうちに自分自身の変化をリアルに実感して……気づけば6年目を迎えています。

## 02 KOKOGA〇〇DAYO 倫理の教えは「国籍不問」なのか？

高岡： ここで本質的な疑問なのですが、倫理の教えは日本の文化がベースにある気がします。国籍やルーツが違って、すんなり受け入れられるものなのでしょうか？

高さん： 私は中国出身ですが、むしろすごくしっくりきました。孔子の教えや仏教の考え方に近い感覚があったんです。特に『万人幸福の菜』は、非常にシンプルですが本質的。「これをきちんと守れば幸せになれるな」と素直に思えました。

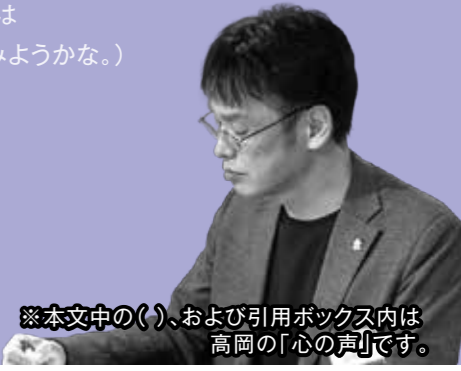
高岡： おお、東洋哲学としての共通点があるんですね。

高さん： ただ……最初はタイトルだけ見ると、ちょっと宗教っぽく見えちゃって(笑)。  
電車の中で読むときは、なんとなく表紙を隠して読んでいました。

高岡： 表紙を隠して読まれていたとは、率直なエピソードですね(笑)。  
(そのお気持ち、よく分かります。あの重厚な佇まいは、満員電車で広げるには少し勇気が要るかもしれません。今度、お洒落なブックカバーをお勧めしてみようかな。)

高岡： 押し付けではなく、「自分自身を整えるための学び」だと気づいてからは、見え方も変わりますよね。  
では、実際に皆さんが「実践して変わったこと」について教えてください。

P8につづく➡



※本文中の( )、および引用ボックス内は高岡の「心の声」です。

ファシリテーター： 高岡 裕 広報委員長(文中「高岡」)  
文責： 石黒 仁将 広報委員(以下「石黒委員」)  
AI編集： 石黒委員・高岡委員長

## 13 実践で変わったこと

### ——「自分本位」から見出した裏方の大切さと、人間関係を整える「礼」

- 武内さん：僕は、倫理に入る前の自分を振り返ると、本当に「デタラメ」だったなと思います。お笑い芸人をやっていたこともあって、自分が前に出ること、目立つことしか考えていなかった。でも、倫理法人会で役をいただき、活動する中で、「裏方の大切さ」「団体行動の意味」「感謝を形にすること」を学びました。
- 高岡：素晴らしい心の変化ですね。
- 武内さん：あと、毎週モーニングセミナーで人前に立つので、良い意味で「場慣れ」しました。人前で話す力や、対人関係のスキルが自然と鍛えられたなと感じています。  
(団体行動、裏方への敬意、感謝。これらは日本が誇るべき美しい美徳ですね。自分本位だったと語る武内さんが、今やそれらを深く実感されている姿に、なんだか胸が熱くなります。)
- 高岡：そんな「美徳」といえば、IT企業を経営する20代の池田さんにもお聞きしたいです。デジタルや合理性の世界にいる池田さんが、倫理の実践で得たものとは何でしょう？
- 池田さん：僕は「朝礼実践」ですね。最初は、お辞儀の角度や、姿勢を揃える意味が正直よく分からなかったんです。でも、続けていくうちに「礼を通して、相手を知ることができる」と気づきました。自分が整うと、周りの空気も整うんです。
- 高岡：「自分が整うと、空気も整う」。非常に含蓄のある言葉です。
- 池田さん：IT業界は合理性重視ですが、やっぱり「経営者が変われば会社も変わる」というのは真理です。だからこそ、この愚直な倫理の実践を続けています。  
(……本当に20代でしょうか。あまりにも成熟していて頭が下がります。私が20代の頃は、朝起きるだけで精一杯だったというのに。日本の未来は明るいですね。)



RINRIHOJINKAI

- 高岡：日本文化の美徳をそれほどまでに深く再認識されているとは、本当に素敵なお話です。ありがとうございます。では続いて、高さんの好きな言葉を教えていただけますか？
- 高さん：「葉があれば自己啓発本はいりません」  
「特定の条というより、その時の自分の心持ちによって、刺さる言葉が全然違うんです。読み返すたびに新しい気づきがある。それが『万人幸福の葉』の一番の魅力だと思います。葉があれば自己啓発本はいりませんね」  
(この視点は非常に新鮮です。特定の条文を挙げる方が多い中で、「その時の心持ち次第で刺さる言葉が変わる」というのは、まさに葉の本質を掴んでいらっしゃるんですね。)

- 池田さん：「朝起きは繁栄の第一歩」  
「夜型でも仕事が成立してしまうIT業界だからこそ、あえて“朝型”にすることを人生の目標にしています。朝を制することで人生が変わる、という強い実感があります」  
(「朝活」という現代的な切り口は、若い経営者層の心に非常に響きそうです。池田さん、ぜひ広報委員会にもお誘いしたい……。)

## 14 KOKOGA○○DAYO 倫理がもたらした変化

### ——「感謝」が自然に湧いてくる境地

- 高岡：ここで、私と同じく会長経験者でもある森園さんにお聞きします。会をまとめる難しさや、ゲストをお誘いする普及活動のご苦労はありませんでしたか？
- 森園さん：会長としての実践を経験して、とにかく「感謝」が自然と湧く体質になりました。夫婦への感謝、仲間への感謝、そして朝礼への感謝。実は、これまで私の会社では朝礼をしていなかったのですが、倫理の実践を導入してみたいんです。そうしたら、バラバラだった社員の気持ちが一つになるのを実感しました。
- 高岡：会社の空気まで変えてしまわれたのですね。
- 森園さん：そうなんです。だから私にとって倫理は、「困った時ほど、モーニングセミナーに行こう」と思える、原点のような場所ですね。
- 高岡：深いですね。逆境のときこそ、基本に戻る。朝に戻る。その大切さを教えられます。

## 15 KOKOGA○○DAYO それぞれの「好きな言葉」

- 高岡：倫理の定番の質問ですが、みなさんの心の支えになっている「好きな言葉」を教えてください。
- 武内さん：「心静かにして万事を益する」  
「倫理活動を経験したからこそ、日本の『子どもたちが自分で掃除をする文化』や『公共を大切にする精神』」「礼儀を重んじる価値観」にもすごく感動したんです。日本人以上に、日本人でありたい。そう思わせてくれる言葉です」  
(素晴らしいですね。そのお話を伺っていると、『万人幸福の葉』の内容が全世界に広がったら、それこそ「万国幸福の葉」になるのではないかと、壮大な未来が目に見えます。)

## 16 KOKOGA○○DAYO あなたにとって「倫理法人会」とは？

- 高岡：最後に、みなさんにとって倫理法人会を一言で表すと何ですか？
- 森園さん：「困った時ほど来る場所」  
武内さん：「他人の人生を、自分ごととして学べる場所」  
高さん：「たくさんのお会いがある場所」  
池田さん：「素直(すなお)を学べる場所」
- 高岡：素晴らしいメッセージをありがとうございます。ちなみに、これから倫理法人会に「こうなってほしい」という未来へのリクエストはありますか？
- 武内さん：はい。インバウンドの旅行者向けに、「モーニングセミナー参加体験ツアー」を組み込んでみてはどうでしょうか？日本の主要な観光地を巡り尽くしたリピーター旅行者に、日本の経営者のリアルな「朝の文化」を体験してもらえそうです。絶対に喜ばれると思います。
- 高岡：それは非常に面白い視点ですね。ぜひ企画してみたいものです(笑)。  
みなさん、本日は本当にありがとうございました。

# 朝礼 が企業を変える！

## 朝礼委員長・実行委員長に聞く

8月1日(土)に開催される「2026活力朝礼甲子園」に向けた取り組みについて、柳澤真由美朝礼委員長と池田龍一朝礼甲子園実行委員長にお話を伺いました。

### —朝礼指導について、5月から現場ではどのようなことを大切にされていますか。

柳澤： 現在は朝礼動画の撮影・指導に入っている段階ですが、まずは社員全員が「一つの方向」を向くことを大切にしています。一つの指標、一つの目標に向かって進める組織づくりを意識しています。  
※一次審査は動画により審査

### —朝礼にはどのような力があると感じていますか。

柳澤： 毎日の朝礼は、何かが起こったときの「底力」になると感じています。毎朝、空気感や向かう方向を一つにしていくことで、普段は意識していなくても、困難を乗り越える力につながっていくと感じています。

### —実際に企業にはどのような変化がありますか。

柳澤： よく聞くのは、「社員の表情が明るくなった」という声です。目つきが変わったと言われることもありますし、お客様から「雰囲気が良くなった」と評価された企業もあります。笑顔や前向きな姿勢が、社内だけでなく日常にも広がっているのだと思います。

### —今回の朝礼大会では動画審査も行われます。どのような点を見ていますか。

柳澤： 心からの笑顔であるか、返事や表情、一体感があるかなど、審査基準に沿って採点しています。朝礼を通して、どれだけ組織の空気感が伝わってくるかを大切にしています。

### —今回エントリーされている企業の特徴はありますか。

池田： 今回は、新しく朝礼を導入した企業が増えていることが特徴です。これまで長く取り組んできた企業に加え、新規導入の企業も多く参加されていますので、非常に楽しみにしています。

### —今年、特にイメージされていることはありますか。

柳澤： 池田実行委員長は今年初めての参加で大活躍です。新しい発想で、これまでにない新鮮な大会を創り上げてくれることを期待しています。  
池田： 倫理法人会で行われている活力朝礼の素晴らしさを、多くの方に体感していただきたいと思っています。そして、「自社でも取り入れてみたい」と興味を持っていただける大会にしたいです。  
柳澤： 新しく朝礼を導入した企業が多く参加してくださることは、結果として倫理を学ぶ人が増えることにつながると思います。社長だけでなく社員の皆さんも含めて、倫理の学びの輪を広げていくことにフォーカスしたいと考えています。  
池田： 今年のテーマは「ありがとうで価値創造」です。この大会をきっかけに、社長から社員へ、そして社員同士が感謝を伝え合う機会になればと思っています。  
柳澤： そのため、各企業のスピーチ時間も少し長くしました。「なぜ導入したのか」「どのような変化があったのか」といった想いまで伝えられる企画にしています。朝礼の良さを初めて来場された方にも理解していただけるよう、各企業の思いを伝える時間を大切にしたいと思っています。

### 活気あふれる朝礼委員会

取材は朝礼委員会の定例会の日でした。開場時間が近づくと仕事を終えた委員の皆さんが次々と集まってきます。高い出席率と活気あふれる雰囲気は、まさに朝礼委員会ならではの魅力です。

委員長挨拶に続いて行われたのは、「職場の教養」感想投稿の成果発表。毎週月曜日の朝6時30分から行われる朝礼をもとに、ゲーム形式で学びを深める独自の取り組みについて紹介されました。

詳しくは朝礼委員までお問い合わせください。

## 活力朝礼甲子園2026 本選出場6社

FP法人ライフデザイン  
(文京区/武蔵野市・三鷹市)

株式会社LIVENT  
(中央区)

株式会社丸長商店  
(練馬区)

しらさぎふれあい助産院  
(杉並区西)

株式会社HMCにこまるツアー  
(上野)

Dr.ZeAL株式会社  
(港区)

## 感謝の連鎖で組織を革新！ 「自分ごと」で挑む 活力朝礼甲子園

朝礼委員長 柳澤真由美

多くの企業に活力朝礼の魅力を経験してほしい。そんな熱い想いを胸に、今年も「活力朝礼甲子園」の季節がやってきました。かつて前委員長の急な欠席により、代役として会長会に参加した際、人前で話すことが苦手な私は頭が真っ白になりました。しかし、朝礼委員長を拝命したこの一年、期待に応えたい一心で試行錯誤を重ねる中で、「人はやろうと思えば変われる」という倫理の実践を身をもって実感しております。

今年の朝礼委員会は、入会して日の浅いメンバーが多く運営に関わっています。だからこそ一丸となって熱心に朝礼見学を重ね、その素晴らしさを自ら深く理解することからスタートしました。

集大成となる今回の甲子園では、参加企業を皆で応援し合い、イベントを「自分ごと」として楽しむための仕掛けを準備しています。互いにサポートし合うことで「ありがとう」の感謝の連鎖が生まれ、単会を越えた強い絆が深まると確信しています。

活力朝礼は、人を変え、組織を成長させる力があります。この甲子園が皆様の第1歩となり、新たな発見と成長の舞台となるよう、最後まで全力で駆け抜けてまいります。

# 「型」があるから おれない、 個性が花開く夏へ

基本に立ち返る誠実さ。

今期で役を締めくくる2人が込める思いは「MSを、きちんとやる」ということです。発表機会の確保を優先した前期に対し、今期は運営・お役・登壇の“型”を学び直すことにフォーカスしてきました。蕪木委員長を中心にマニュアル勉強会の実施、実地での「MSクリニック」を開催し、MS運営の細部に光を当てています。

岩橋副委員長も「会員スピーチを“やるのが当たり前”になってきた」と現場の手応えを口にします。各地でハーフ講話が目立つようになるなど発表文化への意識が育っており、昨年の多様な選考が全国で共有された際には、他県から驚きの声が上がりました。

## 日常へ定着したスピーチの文化

いよいよ8月9日(日)に「会員スピーチフェスタ」が開催されます。

MS(モーニングセミナー)委員会が主催するこのフェスタは、47都道府県の中で東京都のみが開催している特別なイベント。今年で4回目を迎えます。

MS委員会の蕪木大委員長(以下、蕪木委員長)と岩橋展子副委員長(以下、岩橋副委員長)にお話を伺いました。



## 現場の声に答える進化、 その先に花開く未来の個性

今年の改善点としては、現場の声を反映して発表順をくじ引きにし、公平性を高めました。各地では応援合戦の練習も始まっており、練習を重ねることが単会の団結に直結しています。なお、Festaが行われる目標達成祝賀会は、申込締切が早まる可能性があるため、代表決定後の速やかな申し込みがお勧めです。

岩橋副委員長は「言葉が広まるほど文化が定着する。続けることを信じている」と言葉を寄せます。そして、蕪木委員長は「MSの“型”は自由を広げるための軸。型があるから伝えたいことがぶれない。来期はその上に、もっと個性が花開くはず」と未来へ繋がる言葉で結びました。倫理の原点である会員スピーチを磨き上げる夏のステージに、期待が高まります。

研修委員会が立ち上げた「事業体験報告会」は法人レクチャーの育成や発掘を目的とした異なる取り組みですが、まだ広く知られていない人材に光を当てるといった根底の思いは共通しています。

# 第4回 Festa 会員スピーチ

# MS朝食グルメ

最終回

<p>1 湯島</p> <p>くめし弁当 (弁当配達・宅配デリバリーサイト) 週替わり</p> <p>おにぎり、サンドイッチ、おいなりなど+お茶パック 600円</p> <p>グルメな事務長がセレクトしたできるだけ手作りの美味しいお弁当。2種類から選べるなど、飽きない工夫が！ランチ用に持ち帰る方も。</p>	<p>2 中央区</p> <p>星野珈琲店</p> <p>モーニングサービス 580円〜</p> <p>築地本願寺を望む快適な空間で、本格珈琲とトーストや名物ミニパンケーキを早朝から手ごろなお値段で楽しめます。</p>	<p>3 大田区</p> <p>おむすび権米衛</p> <p>日替わりおむすび弁当 500円</p> <p>事務長が真心込めて、買いに行っておむすびが美味しくて大きくて満足度の高いおむすびです！温かい日本茶付き。</p>	<p>4 紀尾井町</p> <p>ゼン・カフェマリーナ</p> <p>発酵玄米プレート 700円</p> <p>栄養と酵素が凝縮した発酵玄米で朝のデトックス！おかず・汁物付き。*玄米が苦手な方はパンにも変更できます。</p>	<p>5 銀座</p> <p>お弁当の宅配・デリバリー CHAKAS</p> <p>おにぎり2個+惣菜3種B(サブの竜田揚げ/しゅうまい/玉子)セット 530円</p> <p>20種類以上の中からおにぎりを2つ選べるので毎回飽きずに美味しい！バックに入っているので持ち運びにも便利です！</p>
<p>6 赤坂</p> <p>ダイズム(くめし経由)</p> <p>大葉梅しらす&amp;えごま塩麴鮭 700円</p> <p>宅配お弁当のサイト「くめし」経由なのでお店やメニューが変わる場合があります。</p>	<p>7 港区</p> <p>銀座十石</p> <p>おにぎり 500円</p> <p>当日朝に届く握りたてのおにぎりは具材のパリエーションも豊富です。茶托付の美味しいお茶との相性も抜群で、毎回飽きません！</p>	<p>8 千代田区</p> <p>カフェドクリエミニストップ</p> <p>サンドイッチ&amp;コーヒー 500円</p> <p>フランチャイズ店ではありませんが、店舗で手作りのサンドイッチがボリュームで、食べ応えがあります。</p>	<p>9 青山</p> <p>ルノアールモーニング・サービス</p> <p>ドリンク: 720円 +80~270円</p> <p>近くのルノアールで朝食会。コーヒー720円などに+80円〜で軽食を追加可能。驚きなのはドリンクで軽食を2つまで注文できること。</p>	<p>10 霞が関</p> <p>人形町今半</p> <p>すき焼き丼 2,000円</p> <p>老舗有名店・今半さんのすき焼きを帝国ホテルでいただける贅沢。とろける黒毛和牛に甘辛ダレがジュワッと口に広がる逸品です。</p>
<p>11 日本橋</p> <p>社会福祉法人信和会 クローバース・ピア日本橋 就労継続支援B型事業所 クローバースファクトリー</p> <p>朝食パンセット 500円</p> <p>ピザパンもベークも最高！りんごのコンポートも優しい甘さでした♪</p>		<p>12 文京区</p> <p>バンとコーヒー 東京ガーデンパレス ラスク ふる里学舎本郷就労継続支援(B型)</p> <p>コーヒーとパンまたはお菓子 1,000円</p> <p>会場ホテルのコーヒーに、パンか文京区の福祉施設で作られたラスクが選べます。地域活性化と福祉支援の思いを込めました。</p>	<p>13 羽田空港</p> <p>羽田空港第2ターミナル 空弁コーナー</p> <p>選べる朝食 1,000円</p> <p>羽田空港オリジナルの「空弁」と肉の万世の「万かつサンド」温かいコーヒーはエクセル東急ホテルでお代わり自由です♡</p>	



# 後継者倫理塾

# 100日

2026年5月23日、東京都倫理法人会による後継者倫理塾の「100日実践発表会」が開催されました。早い時間から続々と塾生の応援の方々がジョイヴィレッジ芝公園に詰めかけ、主催者や来場者が交わす会話やアンケート依頼の声で、開始前から会場は熱気に包まれました。

# 実践発表会

澤田塾長による開会挨拶では、自分を知り、恩を知り、理念を定める3つのステージのカリキュラムについて、「苦しい、途中でやめたくなくなることもある。それでも仲間と越えていくことに後継者倫理塾の真価がある」という覚悟の言葉とともに、発表会は開幕。

続く塾生による実践報告では、11名が登壇しました。日々、自分と向き合ったノートの記録、両親への手紙、会社理念の書き写し、『倫理経営原典』の精読と書簡報告など、それぞれの環境に応じた100日の純粋倫理の実践を各自が語りました。

事業の失敗や業務の焦り、職場での衝突、家族との確執といった苦難の中での実践。継続により、自らの慢心を省みて、周囲や祖先への深い感謝へと至るプロセスなどが示されました。人を信じて任せる信頼の重要性、苦難を成長の糧にする経営者としての内面の変革の兆しも語られました。

「独善」を捨て人を信じて任せる、  
「甘え」を断ち自ら選び責任を持つ、  
「私欲」を超え周囲や社会の幸福に尽くすなど、  
塾生たちは確かな決意を新たにしました。



100日実践の答えはそれぞれですが、一人では越えられない壁を共に越える後継者倫理塾という「場」の真価が共有されました。発表会を終えた塾生たちは、7月12日(日)に開催される修了式に向けて、さらなる実践を続けてまいります。次代を担う経営者たちの確かな一歩を感じさせる発表会となり、本イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。

# イベント開催レポート

# 7月(後半)8月のEvent schedule

# イベントスケジュール

7月(後半)	16日(木)	女性委員会 定例会(事) 10:30~12:00
	17日(金)	朝礼委員会 定例会(事) 19:00~21:00
	19日(日)	倫理経営実践塾
	20日(月・祝)	倫理経営実践塾 卒業式
	26日(日)	女性委員会(銀座パセラ)ランウェイ 13:00~16:30
8月	1日(土)	活力朝礼甲子園2026 四谷区民ホール
	7日(金)	倫理経営実践塾(事) 13:00~17:00
	8日(土)	広報委員会 定例会(事) 11:00~13:00
	14日(金)	女性委員会ファイナーイベント
	17日(月)	研修委員会(Zoom) 18:30~20:00
	18日(火)	青年委員会(事) 19:00~20:30
	19日(水)	MS委員会
	20日(木)	定着委員会 18:30~19:50
	21日(金)	朝礼委員会(事) 19:00~21:00
	29日(土)	茶の学習会(リアル) 10:00~12:00

(事):場所 事務局会議室



# AIによる自己革新 第5回

## — 最後はやっぱり“人”が決める

倫理法人会の「明朗・愛和・喜働」は、どんな時代にも通用する人間力の軸です。AI時代も例外ではありません。むしろ、技術が進化する今だからこそ、人間性の価値が際立ちます。

AIは計算や分析は得意ですが、人の心や文化を完全に理解することはできません。信頼関係づくりや価値観の共有は、人だけができる領域です。



日々の朝礼の挨拶や会員同士の温かな声かけは、AIには真似できない人間らしさの現れです。AIを恐れるのではなく、自分の感情知性や倫理観を磨きながら、AIをパートナーとして迎えること。

そして忘れてはいけないのは、AIはあくまでもあなたをサポートしてビジネスを加速させる存在だということ。主役はいつも、あなた自身です。

執筆:あいら先生

# AI時代における人間性の磨き方



1年間ありがとうございました  
by 編集部一同

**高岡 裕 (小金井)**  
AIを活用し年齢性別問わず未経験でも広報誌が作成できるように活動してきました。今期の広報委員会ですが、今号でペン置きます。こんな表現も死語になりましたね。委員の絆で駆け抜けた、熱く尊い一年でした。人の喜びを、己の喜びに、会員の皆様がコツコツと準備をしている姿を思い描き、日々の小さな実践の数を積み重ねつつ、采期もまた、新しい景色も広報委員会は描いてまいります。変わらぬご愛顧賜りますと幸いです。"

**昌 健太郎 (霞が関)**  
全単会からチラシを集めてのコンテスト、そして朝食会特集は最後の第二ブロックを掲載でき、たくさんの方にご協力をいただきました。これがゴールではなく新スタートだと思っています。采期の広報委員会はどうか引き続きご注目を願っています。

**菅野 文子 (文京区)**  
初めての取材と記事の作成。伝えたいことが溢れ、語彙力や表現力の不足を痛感しました。苦手なPC操作からも逃げずに挑戦しました。学びと実践の素晴らしい機会に感謝。

**石黒 仁將 (世田谷区)**  
広報委員として初めて取材に参加しました。多様な会員の実践や想いに触れ、倫理法人会の魅力は「人」と「実践」にあることを改めて実感した貴重な機会となりました。



広報委員会 本誌アンケートのお願い

本誌のQRコードより、アンケートにご回答ください。所要時間は1分程度です。今後の参考とさせていただきます。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

